公民館豆知識・トリビアのコーナー

（・∀・）つ〃∩ ヘェ-ヘェ-ヘェ-

このコーナーでは，旭川の公民館の豆知識，思わず「へ～」と言ってしまうような話題を紙面の許す限り集めてみました。今度公民館に行くのがちょっぴり楽しみになるかも。

中央公民館は，昔，ＮＨＫ旭川放送局だった。

５条通２０丁目にある中央公民館の建物は，ＮＨＫ旭川放送局として昭和７年に建築されました。ラジオ局として開局したのは昭和８年９月です。建築後８２年を経過した今年，平成２６年２月には「旭川の歴史的建物の保存を考える会」から「建築賞」をいただきました。

古い古いと言われている中央公民館ですが，このように歴史のある建物が現在も現役で使われている例は全国でもあまりないはず。建設当時の面影を残すよう維持補修していますので，よく見ると，随所にレトロな箇所があります。探してみてくださいね。

東旭川公民館には，電車がある。

東京在住の鉄道ファンの方が描いてくれたモハ１００１

東旭川町上兵村にある東旭川公民館・東旭川農村環境改善センター敷地内には，１９５５年製の電車「モハ１００１」が屋外展示されています。この電車は，旭川電気軌道が旭川四条駅と旭山公園間で運行していた，日本最北端を走る路面電車でした。昭和４７年末をもって廃線となった後は，市立郷土博物館に置かれていましたが，平成２年の東旭川公民館・改善センター新築移転後に，現在の場所で展示されることになりました。道外からも鉄道ファンがこの電車を見学に来てくれ，「雪国での屋外展示なのに状態が良い。当時としてはモダンなデザインだ。」と評判の電車です。

愛宕公民館トリビア４連発

旭川市豊岡７条９丁目にある建物は愛宕公民館と愛宕東小学校だけです。

１階ロビーにあるブロンズレリーフ「天馬と鳥」は北海道出身の彫刻家　山内壮夫（やまのうちたけお）氏の作品です。山内氏の他の彫刻作品は忠別橋や花咲大橋などでも野外彫刻としてご覧いただけます。

２階会議室の壁はカラ松貼りです。ちなみに旭川市長応接室の腰壁にもカラ松が使われています。

季節限定ではありますが，公民館の玄関から外に出て，西の空を見ると「イチョウの精」としか思えない姿が見え（る様な気がし）ませんか？

永山公民館のある永山市民交流センター敷地内には明治時代の建物がある。

永山３条１９丁目にある永山市民交流センター（公民館や図書館，支所などが入っています。）の敷地内には，明治２６年に上川郡永山戸長役場庁舎として建てられた建物があります。建物は大正１０年に新庁舎に移転するまで永山村役場として使用されていましたが，その後民間に払い下げとなり，平成４年まで民家として利用されていました。貴重な建物であるため，旭川市は平成６年に解体材を使用し，ゆかりの地である永山に復元を行いました。

建物は和洋折衷様式です。自由に見学ができ，入館は無料です。開館時間は９：３０から１６：３０まで。残念ながら月曜日と冬期間（１１／１～４／２７）は休館日です。春になったら，ぜひ見に来て下さいね！（外観は冬でも見ることができます。）

旧永山戸長役場

東鷹栖公民館の巨大緞帳（どんちょう）は，パッチワークサークルの皆さんの手作りである。

東鷹栖４条３丁目の東鷹栖公民館大ホールにある縦４ｍ５０ｃｍ，横７ｍ６０ｃｍにも及ぶ緞帳は，東鷹栖公民館で活動するパッチワークサークル・コットンの会員の皆さんが，東鷹栖公民館の新築移転時（平成３年～４年）に作成してくれたものです。東鷹栖地域の自然（東鷹栖の水田地から鬼斗牛山を眺めた風景）を描いています。表布地 5,175 枚，色の種類 78 種類，製作延べ時間 1,855 時間という，ものすごい力作です。普段は上に上がっていることが多いのですが，ご覧になりたい場合は職員に声をかけてくださいね。

東鷹栖公民館第４分館の目印は巨大ボウリングピン。

東鷹栖９線１５号にある東鷹栖公民館第４分館には巨大なボウリングピンがありますが，元はボウリング場だったわけではありません。元はどこにあったピンなのか，ご存じの方は東鷹栖公民館まで教えてください！

新旭川公民館の花壇は，サークルさんのおかげで美しい。

東３条７丁目にある新旭川公民館の花壇は，新旭川公民館で活動されている「花壇・花づくり奉仕会」の皆さんの手により，春から初秋にかけていつも満開となっています。

そのため，新旭川公民館の花壇は旭川市役所のホームページ（都市計画課の仕事）の「旭川の景観」ページ内「旭川で見られる花」の中の「花壇等」でも紹介されるほど美しいのです。
http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/tosi_kei/keikan/keikan/hana/asahikawa_no_hana.htm